

第8回東海・北陸ブロック老健大会開催に際して

この度、東海北陸ブロック老健大会を開催させていただくこととなりました。会に先立ち東海北陸ブロックに所属する会員の皆様にご挨拶させていただきます。

最近、地域包括ケアシステムが話題に上がることが多くなりました。認知症や一人暮らしの高齢者が急増していく中で住み慣れた地域で安心して生活できるようにサービスが提供されることが必要とされ、それには、施設サービスと在宅サービスとの連携が整備されていくことが重要なポイントであるかと思えます。我々老人保健施設はその中心的立場を担うことを期待されています。今後より具体的な動きが見えてくるかと思われませんが、いち早く対応するためにもこのような大会にも参加し、情報収集等、積極的に行っていただくことも必要ではないでしょうか。

さて、今大会も8回目を迎え、愛知県での開催は2回目となりました。これまでの開催に際しご尽力いただいた関係者の皆様方には敬意を表する共に、今大会が会員皆様方にとって有意義な大会となるよう努力をしまいる所存です。

そこで、大会事務局では大会にむけて準備を進めております。基調講演及び、記念講演の講師も概ね決定しております。また、演題発表はより多く発表していただけるよう最大6会場135題の設定をいたしました。貴施設での取り組みや研究を発表し、他施設の研究にも耳を傾け、互いの施設の向上にお役立ていただきたいと存じます。

皆様方もご存じのように、平成23年3月11日に発生した東日本大震災は東北地方に甚大な被害をもたらしました。同年7月に予定されていた岩手での全国大会もその影響により中止となってしまいました。この地方からも参加を予定されていた皆様方も多かったのではないかと思います。今大会にてその役割の一部でも担えれば幸いです。

皆様方のより多くのご参加を心よりお待ち申し上げます。



第8回東海北陸ブロック老健大会
大会長 岡田 温